

## 年頭の辞

九州運輸局海上安全環境部長 麻岡 秀行



令和4年の新春を迎え、謹んで年頭のご挨拶を申し上げます。

昨年を振り返りますと、8月に大雨が長引き、九州各地で甚大な被害が発生いたしました。被災された皆様に心よりお見舞いを申し上げます。

海上安全環境部は、海上における安全の確保と海洋環境の保全を目的として、ソフト・ハードの両面から、本年も様々な施策を遂行してまいります。

主なものを挙げますと、海難事故防止の観点から、船員労務監査、運航管理監査、安全総点検等の機会を捉え、航海当直体制の実施状況等の確認を行うとともに、管内各地に於いて、運航安全管理研修会を開催します。

また、事業者自らによる船舶運航事業の安全確保に係る取組みを活性化させることを目的に、運輸安全マネジメント評価を実施します。

更に、20トン未満の小型船舶や水上バイクによる海難事故が全体の約8割を占めている状況に鑑み、関係機関と連携しながら、安全パトロール活動を管内各地で実施し、小型船舶操縦者の遵守事項について周知啓発活動を行います。

我が国に入港する外国船舶に対しては、ポートステートコントロール（寄港国による監督）を適切に実施し、構造・設備及び乗組員の配乗等が条約で定められた安全及び海洋環境保護等の基準を満たしていない、いわゆるサブスタンダード船の排除に努めるとともに、海難船舶による油濁損害や放置座礁船などの万一の発生に備え、船主責任保険未加入の外国船舶が我が国に入港しないよう事前通報の審査を厳密に行い、加入している船主責任保険の有効性確認のための立入検査を実施します。

船員災害防止の観点からは、船員災害防止協会が実施する各種講習会の機会を捉え、船員労働災害に対する船員の安全意識向上を図ります。

また、様々な機会を捉え、労働環境改善により船員という職業を若者や女性を含む幅広い層にとって魅力ある職業へと変えていく、いわゆる船員の働き方改革に対する関係者の意識向上を図ります。

当部では、海上保安部や警察署等の関係機関との連携・協力体制を強化しつつ、管

内の支局・事務所と一体となって、これらの施策を着実に推進してまいります。

最後になりますが、本年も皆様の一層のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げますとともに、新型コロナウイルス感染防止対策が結実し、終息に向かい、本年が事故や災害のない明るい年になることを祈念しまして新年の挨拶とさせていただきます。